

平成31年度次世代育成支援対策施設整備交付金（乳児院及び児童養護施設分）に係る採択方針

- 平成31年度次世代育成支援対策施設整備交付金（乳児院及び児童養護施設分）に係る採択方針については、以下のとおりであり、都道府県等におかれては、施設整備計画協議書の作成に当たり、本採択方針に照らして十分な審査を行った上、内容を精査されたい。
- 国としても、本採択方針を踏まえた小規模かつ地域分散化された施設の創設や改築、増築等を優先して採択する予定である。

採択方針

1. 優先的に採択《小規模かつ地域分散化を積極的に推進》

- ① 地域小規模児童養護施設の整備
- ② 分園型小規模グループケアの整備

2. 条件付（※）で採択《小規模かつ地域分散化を進める過程で過渡的に本体施設のユニット化を経る整備計画》

- ① 本体施設と同一敷地内の小規模グループケアの整備
- ② 本体施設内の小規模グループケア（ユニット化）の整備

（※）概ね10年程度で、小規模かつ地域分散化を図るための整備方針（計画）を提出させ、「都道府県社会的養育推進計画の策定要領」の方向性と一致していることを条件とする。

3. 採択しない《大・中・小舎制を維持》

大・中・小舎（小規模グループケア以外）の整備

4. その他

防犯対策、耐震化工事及び老朽化した設備の更新など、子どもの安全対策に関わる大規模修繕については、別途、必要性等を考慮

（※）概ね10年程度で、小規模かつ地域分散化を図るための整備方針（計画）

採択方針イメージ



敷地外

地域小規模
児童養護施設
→○優先的に採択

分園型小規模
グループケア
→○優先的に採択

地域小規模
児童養護施設
+
分園型小規模
グループケア
→○優先的に採択



本体施設

小規模グループケア
（ユニット化）
→△条件付採択

大・中・小舎
（小規模グループケア以外）
→×採択しない

大・中・小舎（小規模
グループケア以外）+
小規模グループケア
→×採択しない

敷地内
小規模グループケア
→△条件付採択

施設の概要	定員（現在）		定員（2019年度整備後）		定員（将来の姿概ね10年程度後）		整備方針（計画）
	分園型小規模 G C	名	分園型小規模 G C	名	分園型小規模 G C	名	
分園型小規模 G C		名	分園型小規模 G C	名	分園型小規模 G C	名	①小規模かつ地域分散化に向けた検討状況・課題 ②本整備後の小規模かつ地域分散化に向けた整備計画 ③概ね10年程度で、小規模かつ地域分散化を図るための計画概要 ④生活単位の独立、地域社会との良好な関係性の構築のための工夫などについて記載
地域小規模		名	地域小規模	名	地域小規模	名	
大・中・小舎		名	大・中・小舎	名	ケアニーズが非常に高い子どもの養育のため、集合する生活単位	名	
敷地内小規模 G C		名	敷地内小規模 G C	名		名	
合計		名	合計	名	合計	名	

○ これに加え、高機能化、多機能化・機能転換についての実施メニュー、実施時期について記載